

— 企業を育て 地域を伸ばす 商工会議所 —

伊予

商工会議所報

2016

4月

NO.161年4回発行

～ おもな内容 ～

平成28年度事業計画・収支予算・	2
新会員の紹介・	3
景気動向調査報告・	4～5
労働保険年度更新・	6
青年部・女性会 活動報告・	8

◎「小規模事業者持続化補助金」の受付が開始されました◎ 4ページをご覧ください



【昭和35年頃の伊予鉄郡中駅周辺】

発行所:伊予商工会議所
〒799-3111

愛媛県伊予市下吾川1512-6
TEL:089-982-0334 FAX:089-983-2227

E-mail : info@iyocci.jp

【基本計画】

我が国経済は、ようやくデフレ脱却への道筋が見え、TPPの大筋合意や訪日観光客の増加、さらに、昨年後半からは、企業の設備投資も拡大していることが明らかとなり、国民・経済界が将来に向けて明るい展望を持てる期待感が広まりつつあります。

一方、地方においては、海外経済の下振れやそれに伴う輸出・生産の伸び悩み、相次ぐ食料品の値上げなどによる消費者の節約意識の強まりなどを受けて一部に弱さも見られ、回復ペースは緩やかなものとなっています。

このような状況にあって、地域総合経済団体である商工会議所は、地域経済の持続的な成長、中小企業の活力並びに経営基盤の強化に向けてあらゆる施策に積極的に取り組んでまいります。

さらに、商工会議所の活動を強固なものにして行くため、会員数の維持・拡大、組織の強化と組織率の向上に努め、財政基盤の確立を図っていくとともに、元気な地元企業の増加を促進し、地域全体を元気にする相談支援体制を進めてまいります。

以上、会員の皆さまと共に役職員一丸となり「会員や地域社会に、信頼される商工会議所」を目指して、次の諸事業に積極的に取り組んでまいります。

【重点事業】

1. 中小・小規模企業経営支援事業の強化
 - (1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
 - (2) 伊予市中小企業制度資金利子補給制度事業
 - (3) 創業支援事業
 - (4) 求職者マッチング支援事業
 - (5) 小規模事業者の販路拡大支援事業
(小規模事業者持続化補助金)
 - (6) 伊予市地域景気動向調査事業
 - (7) 消費税軽減税率対応窓口相談等事業
 - (8) IT活用による販路拡大支援事業
2. 地域資源等を活用した地域活性化の推進
 - (1) 得するまちのゼミナール地域活性化事業
 - (2) 独身者交流支援事業
3. 建議・要望活動の展開
4. 伊予市との連携
5. 組織・財政・運営基盤の強化
6. 関係団体の指導育成及び社会奉仕団体活動への支援

平成28年度収支予算 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

総括表 (単位：千円)		一般会計 (単位：千円)				中小企業相談所特別会計 (単位：千円)			
会計別	予算額	収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
		科目	予算額	科目	予算額	科目	予算額	科目	予算額
一般会計	52,918	会費	17,850	事業費	13,315	補助金	26,675	事業費	6,311
中小企業相談所特別会計	35,385	事業収入	11,466	管理費	27,221	委託金	650	管理費	26,574
法定台帳関係費特別会計	451	交付金	13,141	積立金	500	事業収入	1,770	繰入金	2,500
共済事業特別会計	11,711	雑収入	818	繰入金	8,489	雑収入	1		
退職給与資金特別会計	36,775	繰入金	4,080	予備費	3,393	繰入金	6,289		
会館特別会計	18,908	繰越金	5,563						
議員研修積立金特別会計	458								
労働保険事務組合報奨金特別会計	1,650								
特定退職金共済事業特別会計	22,760								
合計	181,016	合計	52,918	合計	52,918	合計	35,385	合計	35,385

年会費の、口座振替は6月30日です

平成28年度商工会議所会費の納付をお願いする時期となりました。会員事業所の皆様には、5月中旬に「口座振替」のお知らせを送付させていただきます。

平成28年度の会費は6月30日(木)にご指定の預金口座から引き落とさせていただきます。

また、口座振替の手続きをすまされていない会員事業所の皆様には、職員がお伺い致しますのでよろしくお願ひ申し上げます。

※「口座振替」の申し込みは、
当所総務課までご連絡下さい。 Tel982-0334

伊予商工会議所de愛イベント Vol.3

商工会議所では、第3回の独身者交流イベントを5月8日(日)に花の森ホテルにおいて開催いたします。ご興味のある方、またお知り合いの方にもぜひご周知をお願いします。

なお、参加を希望される方は、事前にえひめ結婚支援センターのメルマガにご登録をお願いします。参加申込・詳細は、4月8日(金)に配信予定のえひめ結婚支援センターのメルマガをご覧ください。

http://www.msc-ehime.jp/deai_event/

第1回目は6組、第2回目は、7組のカップルが誕生いたしました。

事務局職員異動

◆ 新規採用 ◆



平成28年4月1日

総務課 主事補 泉 大地
皆様から「こいつ、何かとよく動くやつだ」と思っていたける職員になります。謙虚に、素直に頑張ります。



平成28年2月15日

総務課 臨時職員 武市みゆき
ご縁があり、またお世話になることになりました。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

◆ 退職 ◆

平成28年3月31日

事務局長 水木 一弘

3月31日付けを持ちまして商工会議所を退職いたしました。在職中は、会員の皆様方には大変お世話になり誠にありがとうございました。今後とも変わらぬ御交誼を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

総務課 臨時職員 河野 芳美
長い間お世話になりました。

新会員の紹介 (敬称略) 平成27年12月1日～平成28年4月1日

新しく会員としてご入会いただきありがとうございます。お気軽に会議所をご利用下さい。

事業所名	代表者	業種	所在地
まるき整骨院	丸木 正人	整骨院	伊予市下吾川398-1
(有)M・T・M	宮崎 春樹	電気通信業	伊予市大平1240-5
渡邊建築	渡邊 勇太	建設業	伊予市稲荷549-1
	水木 潤	農業	伊予市宮下1729-1
二皇シーリング	新宮 幸太	建設業	松山市恵原町甲696-8

(備考)新会員のうち、名簿の公表を希望されない事業所は掲載しておりません。

【当所の会員増強にご協力下さい!】※当所では年間を通して新規会員の加入勧奨に努めております。「商工会議所法」という法律により設立された商工会議所は、全国に514あり、地区内の商工業における総合的な改善発達と社会一般の福祉の増進に資することを目的として活動しております。現在当所においても約800事業所が会員に加入されておりますが、地域唯一の総合経済団体として組織力を強化し、地域商工業者の声を政策提言等へより強く反映させるため、まだ会員になられていない事業所を是非ご紹介下さいますようお願い申し上げます。

年会費の金額は次のとおりです。

★法人会員4口 年会費12,000円

★個人会員2口 年会費 6,000円

伊予市地域景気動向調査について

このたび、伊予市地域景気動向調査にご回答をいただきました事業所の皆様には、ご多忙のところご協力を賜り誠にありがとうございました。

その第2回目の調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

なお、調査結果の詳細につきましては、商工会議所のホームページに掲載いたしますので是非ご活用ください。

調査対象期間	平成27年下半年(平成27年7月～12月)
調査対象業種	小売業・サービス業・卸売業・製造業・建設業
調査対象件数	662事業所(前回658事業所)
回収件数	348事業所(前回209事業所)
回収率	52.6%(前回31.8%)
集計・分析	長尾経営管理事務所 中小企業診断士 長尾 要

調査結果の総括

1 平成27年の経営状況及び平成28年1月～6月の予測

次の表1は各調査項目を3点満点で表わし、数値が上がるほど経営において良い状況を示している。

以下、項目の状況を対比すると次のとおりとなる。

(表1)

調査項目	前期実績 (1月～6月)	後期実績 (7月～12月)	前期と後期の 比較	次期予測 (28年1月～6月)
1. 業界全体の景況	1.62	1.59	→ 0.03	1.56
2. 自社の景況	1.71	1.63	→ 0.08	1.61
3. 市場の競争	1.52	1.53	→ 0.01	1.50
4. 売上高の状況	1.73	1.71	→ 0.02	1.58
5. 仕入価格の状況(低下)	1.46	1.63	→ 0.17	1.64
6. 労務費の状況(減少)	1.79	1.80	→ 0.01	1.83
7. 燃料費の傾向(減少)	1.52	2.01	→ 0.49	2.01
8. 収益(経常利益)の状況	1.59	1.65	→ 0.06	1.57
9. コストアップの価格への転嫁	1.57	1.63	→ 0.06	1.63
10. 消費税の価格転嫁	1.85	1.87	→ 0.02	1.82
11. 従業員数(不足)	2.26	2.17	→ 0.09	2.19
12. 設備資金の調達状況	1.80	1.85	→ 0.05	1.85
13. 運転資金の調達状況	1.84	1.84	→ 0.00	1.82
14. 金利の動向(低下)	2.06	2.06	→ 0.00	2.06
15. 取引条件の改善状況	1.93	1.96	→ 0.03	1.92
16. 従業員の高齢化の改善	1.44	1.70	→ 0.26	1.48

(1) 業界全体及び自社の景況

業界全体及び自社ともに27年実績は低下し厳しくなった。さらに、28年は27年の実績を下回る数値であり、さらに厳しい状況が継続するとの予測である。

(2) 市場の競争

全体では評価点が低く非常に厳しい状況にある。さらに、28年は27年以上に競争が激しくなるとの予測である。

(3) 売上高

全体の実績では売上高は減少となったが、業種別では食料品製造業、食料品小売業、その他製造業で売上高を伸ばす企業があった。しかし、上記の景況や市場の競争のとおり経営環境が厳しくなる中であって、28年の予測は27年実績を大幅に下回る結果となっている。

(4) 仕入価格・労務費・燃料費

この経費項目は大幅な改善が見られる実績となったが、仕入価格の全体の数値はまだまだ低く高騰を意識する事業所が多いことが言える。28年においても改善を期待するとする事業所が多くなっている。

(5) 収益(経常利益)

売上高が一段と厳しくなる中、収益は改善された実績となった。これは、先の仕入価格・労務費・燃料費の改善によるものであり、特に労務費と燃料費の改善が大きく寄与している。しかし、売上高の回復が見られないこともあり、28年は前年実績を下回る厳しい予測となっている。

2 経営の課題

次の表2は、事業所が抱える経営課題を回答数の多い順に並べ、支持率と割合を同時に一覧表にしたものである。経営課題の上位の「売上不振」は、ほぼ2事業所に1事業所弱が、「原材料・仕入価格の上昇」と「競争の激化」は、3事業所に1事業所が課題として取り上げている。

また、原油価格が下落したことにより、「燃料費の高騰」は前期では22.2%あった支持率が、後期では5.2%の支持率しかなく主要経営課題には該当しなくなった。

(表2)

前期(平成27年1月～6月)				後期(平成27年7月～12月)				
経営課題項目	回答数	支持率	割合	前期の順位	経営課題項目	回答数	支持率	割合
売上不振	93	45.8	10.3	1	売上不振	155	44.5	12.1
原材料・仕入原価の上昇	84	41.4	9.3	2	原材料・仕入原価の上昇	106	30.5	8.2
社員の高齢化	68	33.5	7.6	5	競争の激化	106	30.5	8.2
需要の停滞	66	32.5	7.3	4	需要の停滞	100	28.7	7.8
競争の激化	59	29.1	6.6	3	社員の高齢化	92	26.4	7.2
設備の老朽化	51	25.1	5.7	9	人手不足	66	19.0	5.1
価格に税・コストアップを転嫁できない	45	22.2	5.0	6	設備の老朽化	65	18.7	5.1
燃料費の高騰	45	22.2	5.0	10	後継者	58	16.7	4.5
人手不足	45	22.2	5.0	11	大型・中型店との競争激化	53	15.2	4.1
後継者	43	21.2	4.8	7	価格に税・コストアップを転嫁できない	50	14.4	3.9
大型・中型店との競争激化	29	14.3	3.2	16	消費者ニーズの変化	43	12.4	3.3
同業店の進出	29	14.3	3.2	15	運転資金の資金繰り難	41	11.8	3.2
人件費高	27	13.3	3.0	12	同業店の進出	39	11.2	3.0
民需の停滞	26	12.8	2.9	13	人件費高	32	9.2	2.5
運転資金の資金繰り難	23	11.3	2.6	14	民需の停滞	31	8.9	2.4
消費者ニーズの変化	22	10.8	2.4	24	新規参入の増加	24	6.9	1.9
官公需の停滞	17	8.4	1.9	25	下請け業者の確保難	24	6.9	1.9
異業種からの参入	13	6.4	1.4	20	取引条件の悪化	22	6.3	1.7
パート従業員の不足	13	6.4	1.4	18	異業種からの参入	21	6.0	1.6
取引条件の悪化	11	5.4	1.2	17	官公需の停滞	19	5.5	1.5
代金の回収難	10	4.9	1.1	28	設備不足	19	5.5	1.5
品質管理	10	4.9	1.1	8	燃料費の高騰	18	5.2	1.4
環境対策	10	4.9	1.1	19	パート従業員の不足	18	5.2	1.4
新規参入の増加	9	4.4	1.0	27	下請け単価の上昇	17	4.9	1.3
下請け業者の確保難	9	4.4	1.0	22	品質管理	16	4.6	1.2
在庫過剰	8	3.9	0.9	26	在庫過剰	13	3.7	1.0
下請け単価の上昇	8	3.9	0.9	29	設備資金の資金繰り難	11	3.2	0.9
設備不足	7	3.4	0.8	23	環境対策	9	2.6	0.7
設備資金の資金繰り難	6	3.0	0.7	30	金利負担の増加	8	2.3	0.6
金利負担の増加	6	3.0	0.7	21	代金の回収難	6	1.7	0.5
円対策	4	2.0	0.4	31	円対策	4	1.1	0.3
人手過剰	4	2.0	0.4	32	人手過剰	0	0.0	0.0
回答総数	900		100.0		回答総数	1,286		100.0
回答事業所数	206				回答事業所数	348		

3 設備投資の状況

(1) 設備投資を実施したのは、348事業所中81事業所である。実施事業率は前期調査の31.1%から23.3%に低下した。実施事業所数が最も多かった業種はその他サービス業で23事業所である。次いで建設業の18事業所、その他製造業の11事業所、食料品製造業の10事業所と続いている。これを業種別実施企業率でみると、もっとも高いのは食料品製造業の50.0%で、次いで運輸業の42.9%、その他製造業の30.6%と続いている。

一方、業種別の投資件数が多い3業種は以下のとおりである。

1位 その他サービス業 36件 2位 建設業 34件 3位 その他製造業 14件

(2) 主要投資項目及び全体に対する割合は以下のとおりである。

1位 車両運搬具 28件(24.8%) 2位 OA機器 19件(16.8%) 2位 付帯設備(16.8%)件数・割合こそ違いうが、前期も同様の順位となっており、車両運搬具、OA機器、付帯設備が3大投資費目である。

「小規模事業者持続化補助金」制度を活用してみませんか？

◎経営計画に基づいて実施する販路開拓等の取り組みに対し

50万円を上限に補助金(補助率:2/3)が出ます(審査あり)

- ・雇用の増加を伴う取り組み、または買い物弱者対策に取り組む事業者、あるいは海外展開に取り組む事業者については100万円が上限になります。
- ・複数の事業者が共同して申請することもできます。複数の事業者が連携する場合には、上限は100万円～500万円です。
*連携小規模事業者数によります。

◎計画の作成や販路開拓の実施の際、商工会議所の指導・助言を受けられます。

《対象となる取り組みの例》

① 広告宣伝

- ・新たな顧客層の取り組みを狙い、チラシを作成・配布



② 集客力を高めるための店舗改装

- ・幅広い年代層の集客を図るための店舗のユニバーサルデザイン化

③ 商談会・展示会への出展

- ・新たな販路を求め、国内外の展示会へ出展



④ 商品パッケージや包装紙・ラッピングの変更

- ・新たな市場を狙って商品パッケージのデザインを一新



◆ 補助対象者 ◆

小規模事業者 [商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律(平成5年法律第51号)第2条を準用]

卸売業・小売業	常時使用する従業員の数 5人以下
サービス業(宿泊業・娯楽業以外)	常時使用する従業員の数 5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業	常時使用する従業員の数 20人以下
製造業その他	常時使用する従業員の数 20人以下

◆ 手続きの期限等 ◆

	平成27年度補正予算・公募
1. 申請受付開始	2月26日(金)
2. 日本商工会議所(補助金事務局)への申請書類一式の送付締切	5月13日(金) 【最終日当日消印有効】
3. 採択結果公表	7月上旬予定
4. 補助事業の実施期限	交付決定通知受領後から 11月30日(水)まで

【公募概要及び必要書類】

※下記の特設ウェブサイトに掲載されている公募要領をご確認の上、必要書類をダウンロードし、ご利用ください。

URL: <http://www.jizokukahojokin.info>

【申込締切】5月2日(月) ※補助金申請をされる方は事前に商工会議所へご相談ください。

【お問合せ先】伊予商工会議所(担当:白川・大政) Tel 982-0334

労働保険の年度更新は お早目に！！

年度更新期間

6月1日(水)～7月11日(月)

今年度も労働保険の年度更新手続きの時期がやってきました。

労働保険に加入されている事業主の方々は、平成27年度に申告納付した概算保険料の確定精算と、平成28年度の概算保険料の申告・納付手続き及び一般拠出金の申告・納付手続きを期間中に行わなければなりません。この手続きを、「6月1日から7月11日までの間」に行っていただくことになっております。年度更新の時期が社会保険の算定基礎届の提出時期と重なりますので、手続きの準備はお早めをお願いします。

※ご不明な点がございましたら、愛媛労働局・松山労働基準監督署・ハローワーク松山にお問い合わせください。

なお、当商工会議所(労働保険事務組合)へ事務委託されている事業主におかれましては、後日送付いたします年度更新に関する「算定基礎賃金等の報告」等の書類を提出期限(封筒表に記載)までに必ず当商工会議所までご提出下さい。

※提出期限は厳守して下さい

労働保険事務組合を ご活用下さい！！

労働保険(労災保険・雇用保険)への加入手続きや保険料の納付手続き、雇用保険の被保険者に関する手続きなど、労働保険事務の処理は専門の担当者をおくことのできない中小企業の事業主にとっては事務の負担となってしまいます。

「労働保険事務組合」とは、このような事業主の事務の負担を軽減するために、中小企業の事業主を構成員とする商工会議所等の団体が、事業主に代わって労働保険の事務処理をする制度です。

伊予商工会議所では、厚生労働省の認可を受けて、この「労働保険事務組合」となっておりますので、特に労働保険に未加入の事業主におかれましては、事務委託されることをお勧め致します。



お問い合わせ
労働保険事務組合

伊予商工会議所 宇都宮・佐々木まで
Tel 982-0334

労働保険年度更新 申告書受付会のご案内

愛媛労働局では、この年度更新手続きを円滑に行うために、伊予商工会議所において「年度更新申告書受付会」を開催致します。ぜひご利用下さい。

◆年度更新申告書受付会

6月21日(火)午前10時～午後2時

伊予商工会議所 3階 大会議室

※本年も、受付会は1回のみです。

■お問い合わせ

愛媛労働局 労働保険徴収室

Tel 935-5202

平成28年度(4月分給与より適用)の 雇用保険料率に変更されました

事業の種類	雇用保険料率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	11 /1000	7 /1000	4 /1000
農林水産 清酒製造 の事業	13 /1000	8 /1000	5 /1000
建設の 事業	14 /1000	9 /1000	5 /1000

青年部 活動通信

忘年例会・全国大会・臨時総会



忘年例会を開催

去る12月14日(月)、濱田屋に於いて、武智市長をはじめ多くの来賓をお迎えし、恒例の忘年例会を開催致しました。

今年はメンバーの増加もあり参加も例年より盛大な忘年例会となりました。

来年度はより一層盛大に行えるようより一層の会員拡大を行ないたいと思います。



全国大会おかやま大会に参加

2月19日(金)～2月20日(日)の2日間、日本商工会議所青年部第35回全国大会おかやま大会が盛大に開催され、全国各地から約6,000名の青年部メンバーが岡山の地に集結致しました。

大会は、前泊者交流会から始まり、分科会、大懇親会、記念式典、堀江 貴文氏を招いての記念講演、記念事業、物産展、エクスカージョンが行われ、全国のメンバーとの交流と研鑽

が図られました。

当日は残念ながら雨ではありましたが、青年部員の熱意は上昇し大会は大成功でした。この大会で学んだ経験を今後の活動に活かしていかなければならないと思います。

会社経営も青年部活動も今大会の様に熱意を持って取り組んでいきましょう。



臨時総会開催

平成28年3月7日(月)、伊予商工会議所3階において臨時総会を開催致しました。臨時総会では平成28年度の役員、事業計画及び収支予算について審議され、原案どおり承認されました。これから、新たに就任された高橋会長の下、委員長、メンバー一丸となって様々な事業に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い致します。



女性会 活動だより

講演会の開催・県連研修会へ参加



自分自身も普段からいろいろなことに興味を持ち、見聞を広めておくことが大切だということを学びました。

”雑談力”セミナーを開催

平成28年1月18日(月)、19時から、中小企業診断士の難波三郎さんを講師にお迎えし、『タモリさんに学ぶ！仕事で使える「雑談力」』というテーマで講演していただきました。

仕事や重要な話を進める前の入り口としての「雑談力」を身につけるポイントを、タモリさんの話術を例に教えていただきました。そのポイントをふまえて、実際に、隣の人と雑談を行うセミナーでしたので、楽しく学ぶことができました。

いくつかのポイントとして、①「雑談」とはいえ、親しい友人との会話ではないので、「話し手」と「聞き手」の役割を明確に、正しい言葉で話すこと。②相手や相手の話に興味を持つこと。③できるだけ「聞き手」に徹すること。④相手がもっと話したいと思うように、「相づち」「質問」が大事だということ。

「雑談」の入り口は、「趣味」「旅行」「好きな食べ物」だそうです。話が途切れたら、自分から話を始めることも必要なので、

県連主催の研修会、松山女性会新年会に参加

平成28年1月27日(水)14時から松山全日空ホテルで、県連主催の研修会が開催され、榎佳論の辰巳明弘さんを講師に迎え、「輝く人間ブランドの創造 人間力・現場力アップこそ決め手」のテーマでお話をしていただきました。

毎日を笑顔で、常に前向きな気持ちをもつことで、家庭でも職場でも現場を明るく、楽しくすることができるということを学びました。

また、松山女性会の新年会にも参加させていただき、今年も連日猛練習をされたという「伊予万歳」を披露して下さるなど、楽しませていただきました。女性会では、私たちと一緒に楽しく活動して下さる会員を募集中です！

